

安全上の注意

警告



- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。直流電源装置の故障、感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなってください。感電、火災、ケガの原因となります。
- LEDモジュールの取り付けは、LEDモジュールの質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源線の接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなってください。接続や接続部の処理が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
 - 1) スリッパ等により確実に接続し、絶縁処理をおこなってください。
 - 2) 接続部は自己融着テープ等で防水処理を確実にこなってください。(送り電線を使用しない時も絶縁処理と防水処理をおこなってください。)



- LEDモジュールの分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。(指定切断箇所での切断は除く)



- LEDモジュールに内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- LEDモジュールの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 適合直流電源装置(別売)以外は使用しないでください。LEDモジュールの破損、発煙、点灯回路損傷の原因となります。(適合直流電源装置:ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDD)

注意

- 床、什器等の清掃の際は、LEDモジュールやルーバー(別売)に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 下記のような使用環境・条件下では使用しないでください。早期の錆発生、故障、落下、ケガ、感電、火災の原因となることがあります。
 - 1) 水に浸かるおそれのあるところ(取付面が凹状の場所など)
 - 2) 常時高温高湿になるところ(浴室、サウナなど)
 - 3) 振動、衝撃のあるところ
 - 4) 明らかに強風が吹く場所・地域(離島含む)と判断される場所(風避けのない建物の屋上、橋など)
 - 5) 腐食性雰囲気のあるところ(温泉地など)
 - 6) 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)
 - 7) 粉塵の多いところ
 - 8) 塩害の影響を受ける地域(海岸に近いところなど)
 - 9) 塩素を使用しているところ(プールなど)
 - 10) 荷重がかかる場所
 - 11) 人がぶら下がったり、足で踏みつけられたりするおそれのある場所
 - 12) 草や木が成長し、LEDモジュールが覆われるようなところ

- 13) 異物(落ち葉など)が堆積するようなところ
 - 14) つらがが発生するような寒冷地や積雪地域
- LEDモジュールを被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
 - LEDモジュール取付時は、アルミレール(別売)とズレ防止金具(付属)を用いて確実に取り付けてください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。
 - 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
 - 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
 - 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
 - LEDモジュールの温度上昇は収納部の容積やLEDモジュールと周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
 - LEDモジュールやルーバー(別売)に塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。
 - 点灯中や消灯後しばらくは、LEDモジュールが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
 - 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
 - 可燃性造営材に取り付ける場合にはLEDモジュールとの間隔をとってください。火災の原因となることがあります。
 - 誤って落下させたLEDモジュールは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は-10℃～35℃の範囲で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキの原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- LEDモジュールを並列に取り付ける場合は、LEDモジュール1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じる場合があります。
- LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときはLEDモジュールから1m以上離して使用してください。

- 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。直流電源装置、LEDモジュール故障の原因となることがあります。
- 交換の際はLEDモジュールごと交換してください。LED素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。
- LEDモジュールの自重によるノリを防ぐよう、アルミレール(別売)を配置してください。
- 什器等の絶縁性能試験を実施する際は、LEDモジュールを必ず取り外しておこなってください。LEDモジュールが故障します。
- 調光する際は、指定の調光用直流電源装置と調光器を必ず使用してください。
- 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- 直射日光のあたる場所および直接雨のかかる場所では使用しないでください。LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。
- 扉の開閉箇所など、LEDモジュールが繰り返し曲げられる場所へ取り付けしないでください。故障の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
 - ※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
 - ※ LED光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

定格

入力電圧:DC 24 V

ナロータイプ

形式※1	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)	ユニット数(個)
CHC-LED100□□N20-WP	100	2.1	0.03	1
CHC-LED500□□N20-WP	500	10.4	0.11	5
CHC-LED1000□□N20-WP	1000	20.4	0.22	10

ワイドタイプ

形式※1	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)	ユニット数(個)
CHC-LED100■F-WP	100	1.9	0.02	1
CHC-LED500■F-WP	500	9.4	0.1	5
CHC-LED1000■F-WP	1000	18.7	0.19	10

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

適合直流電源装置形式※4	最大使用W数※2
ELD24100FD※3	70 W(60 W)※4まで
ELD2-24240FD※3(非調光・PWM調光兼用)	168 W(144 W)※4まで
ELD24320FD※3(非調光・PWM調光兼用)	224 W(192 W)※4まで
ELD24150FDD(非調光・DALI調光兼用)	105 W(90 W)※4まで

- ※1 形式の□□、■は色記号
□□(H27、H30は電球色、H35は温白色、H40は白色、H50は昼白色)
■(L22、L24、L28、L30は電球色、WWは温白色、Wは白色、Nは昼白色)

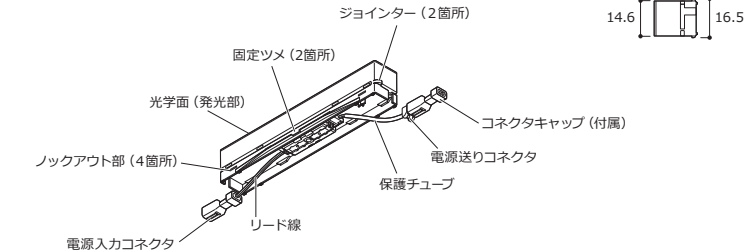
- ※2 最大使用W数は、LEDモジュール入力電力を使用し、組み合わせたときの値です。ただし、直列配線LEDモジュール長合計は、ナロータイプ:5500 mm、ワイドタイプ:6000 mm以下としてください。

- ※3 段調光アダプタSDA150との併用で段調光可能。

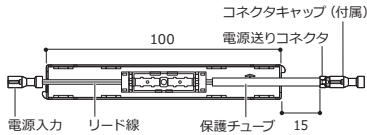
- ※4 直流電源装置は周囲温度5℃～40℃の範囲で使用してください。ただし、直流電源装置ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDDを天井裏など40℃近傍で使用する場合は()内の電力で使用してください。

各部の名称と外形寸法

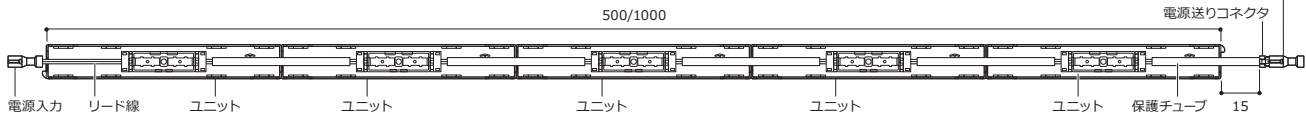
単 位 :mm
本 体 :ポリカーボネート/アクリル
付属品 :コネクタキャップ 1個



【100サイズ (1ユニット)】



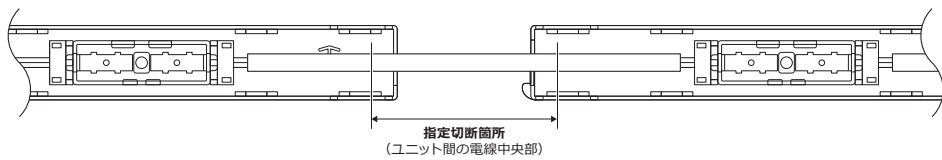
【500サイズ (5ユニット) 、1000サイズ (10ユニット)】 (図は500サイズ)



<LEDモジュールの長さの調整方法>

- ①電線を指定の切断箇所(右図)で切断してください。
- ②切断した電線の末端を1本ずつ防水、絶縁処理してください。

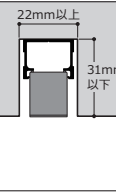
注意】切断した電線は再接続、延長配線はできません。



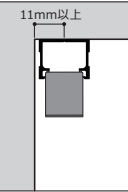
<最小施工寸法>

●単体使用時

<埋め込み寸法>

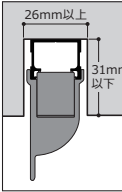


<壁付け寸法>

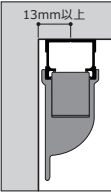


●ルーバー組み合わせ時

<埋め込み寸法>



<壁付け寸法>



取付方法

1.本体の取り付け

警告

不完全装着のまま使用すると落下します。
LED モジュールはレールに確実に取り付けること。

・ 連結されているユニットの端部を下図のように持たないでください。(断線の原因)

注意

・ ジョインターでユニット同士が接続されている状態で、持ち運ばないでください。(ジョインターの破損の原因)

■直線で取り付け

① アルミレールをLEDモジュール全長に合わせて切断してください。
② アルミレールに取付穴(φ4.0mm程度)をあけ、取付ねじ(アルミレールに付属)で造営材に確実に固定してください。
ねじ取付ピッチ: 500mm以内
注意] 取付穴加工は、溝以外にしないでください。
③ アルミレールにコネクタ接続をしないユニットを装着してください。
注意] 縦向き、傾斜取付時はスレ防止金具をユニット中央にある溝へ必ず装着してください。
(ユニット10連結に1個、かつ連結末端に取り付け。TR-CHCH100A使用時は各ユニットに1個)
④ LEDモジュールを連結する場合、LEDモジュール間のコネクタを接続し、ユニットをアルミレールに装着してください。

アルミレール(別売)
TR-CHCH100A(穴有)
TR-CHCH1000
TR-CHCH1500
TR-CHCH2000
※末尾の数字はレールの長さを表します。(単位:mm)

単位:mm

トラスタッピングネジ 5個
3.5×16mm
※TR-CHCH100AIは1個、
TR-CHCH2500Iは10個付属

スレ防止金具 2個
※TR-CHCH100AIは1個、
TR-CHCH1000Iは2個付属
TR-CHCH1500I、2000Iは3個付属
TR-CHCH2500Iは4個付属

<並列に配置する場合は>
20 mm以上離す
<直列に配置する場合は>
5 mm以上離す
10 mm以上離す

<ズレ防止金具を使用していない箇所>
① マイナスドライバーなどをユニット間に差し込む
② ひねって連結を解除する
③ 精密ドライバーの先端を、ユニット側面中央部の切り欠きへ差し込む
④ ユニートを押し出す

<ズレ防止金具を使用している箇所>
① マイナスドライバーなどをユニット間に差し込む
② ひねって連結を解除する
③ マイナスドライバーなどをユニット端部のアルミレールとの間に差し込み、スレ防止金具の付近までスライドさせる
④ ユニートを押し出す

<LEDモジュールを連結する場合>
LEDモジュール間のコネクタを接続し、電源入力側のリード線を折り曲げて、ユニットをアルミレールに装着してください。

電源入力側のリード線を折り曲げる

⑤ LEDモジュールの電源入力コネクタを専用コードのコネクタに接続し、ユニット内に収めてください。

延長コード(別売)/
接続コード(別売)
直流電源装置(別売)に
接続する。
(下記 3.)

⑥ ユニートをアルミレールに装着してください。

⑦ ユニートを連結してください。

<連結解除のしかた>
① マイナスドライバーなどをユニット間に差し込む
② ひねって連結を解除する

注意 ユニートの連結は2回まで。
(ジョインターの破損の原因)

ジョインターを
凹みに「カチッ」と音がするまですり込みます。

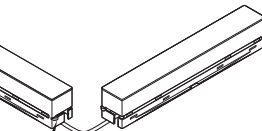
縦向き取付時
【注意】
LEDモジュールを取り付ける向きによっては、必要に応じてねじ(別途必要)で滑り止めをおこなってください。

滑り止めねじ(別途必要)

⑧ 電源送りコネクタをアルミレールの内部に収め、リード線が露出ないようにしてください。

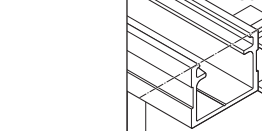
■90°で取り付ける（「1.本体の取り付け」とあわせてご覧ください。）

①ユニットのジョイントをニッパーなどでカットしてください。



ジョインター

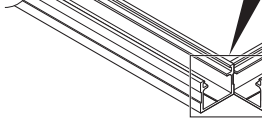
②アルミレールを以下のように配置してください。



90°

この線をそろえてください。

③下記のようにユニットを突き合わせてアルミレールに取り付けてください。



このユニットにはルーバーを取り付けられません。

■曲線状に取り付ける（「1.本体の取り付け」とあわせてご覧ください。）

●TR-CHCH1000Cを使用する場合

①曲がりアルミレールTR-CHCH1000Cを曲線状に配置し、アルミレールに取付穴(φ4.0程度)をあけ、取付ねじ(アルミレールに付属)で造営材へ確実に取り付けてください。

取付穴をあける。
(φ4.0 mm程度)

取付ねじ (アルミレールに付属)

切り欠きが無い側へ
曲げ可能

取付穴をあける。
(φ4.0 mm程度)

取付ねじ (アルミレールに付属)

ねじ取付ピッチ: 500mm以内
注意) 取付加工穴加工は溝以外にしないでください。
R200未満に曲げないでください。

②ズレ防止金具をユニット中央にある溝へ個別に装着し、その後にアルミレールに装着してください。

ズレ防止金具

2.ルーバーLV-CHC100-WP(別売)の取り付け (必要に応じて取り付けてください。)

ルーバー（別売）

LV-CHC100-BK-WP(黒)
LV-CHC100-WH-WP(白)

単位:mm

【CHC-LED組み合わせ時の寸法】

① ユニットにルーバーを取り付けてください。

ルーバーを斜めに差し込み、ツメが引っかかるまで押し込みます。
・ユニットの端面にルーバーの端面を合わせて、位置ズレやがたつきがないようにしっかりと取り付けてください。

② 隣のユニットにルーバーを取り付けてください。

③ 「カチツ」と音がするまでスライドさせて、隣のルーバーに密着させてください。

④ 手順②～③を繰り返し、全てのルーバーを取り付けてください。

【注意】ルーバー取り付けはLEDモジュール取り付け後におこなってください。

■取り外し方

ユニットの端部を指などで押さえ、ルーバーの端部を上方向に引き上げてください。

・手袋などをし、光学面に傷や汚れが付着しないように配慮をしてください。

3. 直流電源装置(別売)の接続

注意	直流電源装置の最大使用W数以下で使用。(故障の原因) 直流電源装置の取り扱いについては、各製品の取扱説明書をご覧ください。
----	---

ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDDを使用する場合

- 専用コードHKLWP(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。
- LEDモジュール連結合計長がナロータイプ:5500 mm、ワイドタイプ:6000 mmを超える場合は、直流電源装置 出力側リード線の末端で分岐してLEDモジュールを接続してください。
- 調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をご覧ください。

**LEDモジュール間を延長する場合に使用
延長コード(別売)
HKLWP500延長**

※末尾の数字は電線の長さを表します。
(単位:mm)

単位:mm

注意

・ 総配線長は10m以内、LEDモジュール連結合計長はナロータイプ:5500 mm/ワイドタイプ:6000 mm以内(チラツキや暗点灯の原因)

**接続コード(別売)
HKLWP1000片切り**

※末尾の数字は電線の長さを表します。
(単位:mm)

単位:mm

4.電源の供給

全ての作業が完了しましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。